



(生涯学習課)

「この本、よかった！」(23)
 「りゅうががあります」
 作：ヨシタケ シンスケ
 (PHP研究所)

皆さんにもおすすめしたい「くまどく本」は、今月は熊野第三小学校からです。
 中本 一克(3年1組)
 自分のクセを注意されて、あるはずのない理由を言っておまかしている所がおもしろい。最後に、お母さんも自分のクセに理由をつけておまかしている所も面白いです。
 中本 容子(母)

簡単に言えば、子どものヘリクツ集ですが、発想力溢れる「りゅう」を語る子どもと、それを頭から否定せずクルにかわすお母さんとの関係性が素敵で、面白い本です。



(生涯学習課)

第35回熊野町音楽同好会
 チャリティーコンサート
 熊野町内に「広げよう！音楽の輪」を合言葉に活動を続けて35年になります。熊野児童合唱団のかわいい合唱もお楽しみください。
 時 8月23日(日)開場：午後1時、開演：午後1時半
 所 熊野町民会館ふでりんホール
 入場料300円
 △演奏：「コロロ・デ・ヒラソル」(コーラス)、「音楽同好会・歌謡部」(カラオケ)、「月下美人」(大正琴)、「マンドリム」(ギターマンドリン・アンサンブル)
 △ゲスト出演：熊野児童合唱団

第28回日本民謡フェスティバル2015 出場おめでとうございます

6月21日にNHKホールで開催された第28回日本民謡フェスティバル2015に山本英三さん(呉地)が出演されました。この大会は全国各地の民謡大会の優勝者が審査を通過して出場するもので、山本さんは「西条酒つくり唄」を披露されました。

山本さんは20代後半から民謡を始められ、長年続けられている安来節では、広島市内の教室で講師を務めておられます。休日はもちろん、平日も仕事の後に練習に励まれるなど、熱心に取り組んでおられます。

お話を伺ったところ、「緊張はしますが、ホールで歌ったのはいい経験になりました。これからも地方の大会で優勝して、またこの大会に出場したい。」と、大会の感想と次の目標を語っておられました。大会の様子は下記の日程で放送されます。ぜひご覧ください。

- ▽総合テレビ：8月2日 15：05～16：34
- ▽FMラジオ：8月10日 7：25～8：55



山本英三さん(呉地)



第37回熊高祭

熊野高等学校

この地に(233)



6月19日と20日(公開日)の2日間、第37回熊高祭を実施しました。開会式では、生徒会企画の「校内クイズ大会」で、各クラス代表者が熊野高校や先生に関する問題に取り組み、イントロ当てクイズでは観戦者も巻き込み全員で大いに盛り上がりしました。

公開日は、各クラス・クラブが創意工夫に富んだ展示や食品バザーを行いました。特設ステージ上では、生徒会のビンゴ大会に続き、有志の発表、空手部演武、合唱コンクール本選、毎年恒例の書道部の大書、吹奏楽部のコンサートで最高潮を迎えて締めくくられました。

今年新たに坂町のサンスターホールで開催した合唱コンクールには約70名、熊高祭には約700名の保護者や地域の皆様にご来場いただき、本年度の熊高祭テーマ「Chase a New Dream～新しい夢を追って」の通り、また一つ新しい夢の実現を果たした本校生徒の姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。今後とも応援よろしくお願ひ致します。



熊高祭 中庭特設ステージにて合唱コンクール本選

☎熊野高等学校 ☎854-41155

熊野町 教育委員会

やまびこ (22)

子育ての基本は『可愛い!』の気持ち ～大人のカ・子どものカ～

「少子高齢化」という言葉が盛んに使われるようになって何年になるのでしょうか？確かに学校が廃校になった所や統合されて校舎だけが残っている地域が広島県内にもたくさんあります。しかし、幸いなことに熊野町では4つの小学校・2つの中学校(更に県立高校)で、生き生きと子ども達が通学しています。朝、挨拶運動に出てくださいしている民生委員さんや女性会の方々、下校を見守ってくださっている年金受給者協会の方々やマツダOB会の方、第二小防犯パトロール隊の方、呉地喜楽会の方、そして新宮長寿会の皆さん、子ども達は本当に幸せだと思います。



今年度になって幼稚園や保育園から保護者の方々と一緒に「子育て」について語り合う時間をいただき、数園に伺わせてもらいました。その一部をここで紹介します。

赤ちゃんがお母さんのお腹の中で育つ生命の伝承は1億6千年前からだそうです。そこには胎盤の素晴らしい働きがあったからと言われてます。元々、生命の伝承は卵を育てるところから始まっています。魚も鳥も卵から子どもを育てます。しかし、哺乳類は母親の体の中で数ヶ月間大事に育てることによって、どんな外敵からも赤ちゃんを守ることができるのです。

赤ちゃんを守っているのは胎盤ですが、この胎盤の働きが凄いのです。母親の体の中で赤ちゃんという母親とは違った生命体が育つには母親の拒否反応から守らなければなりません。その働きを胎盤がしているのです。胎盤に守られて赤ちゃんは母親のお腹で育っていくのです。胎盤からは「この子が可愛い」という深い愛情のホルモンが母の頭脳に働きかけます。更に、「オギャア」と生まれて母親の体内から外界に飛び出してくるとき、「可愛くてたまらない」というホルモンを母親の体内に残して胎盤も外に出してしまうのです。その愛情は母親から父親へ、そして家族へと、水が浸みていくように広がるものです。子どもが可愛いと思う気持ちを子育ての土台において、子どもの喜びに共感することが子育ての楽しみだと思います。(H.27.6.7.NHK「生命大躍進」より)

この世に生まれてきた子どもは、「ひとりの人間」として自分の力「子どもの力」で育とうとします。教えなくてもお乳を飲もうとしますね。お腹がすいたり不快なことがあると泣きますね。しかし、そこで大切なのは「お手本」です。お父さんお母さんそして家族や周りの大人がどんなお手本を示してあげられるかが「大人の力」として大切なのです。



例えば、言葉遣いは子どもにまねられて良い言葉で話しかけていると思いますか？道路を横断するときは、横断歩道のあるところまで行って渡っていますか？どんなに忙しくても子どもと本気で触れ合う時間を一日に一回は取っていますか？挨拶は顔を合わせて目を見て交わっていますか？乳児でも幼児でも小学生でも中学生でも高校生でも、お手本としての大人の力は同じだと言えます。

生徒募集中

読み・書き・そろばんの
サンライトスクール

中溝4丁目9-11 / 東山4-4

読書(硬筆・毛筆)

計算(そろばん)

幼児かきかたランド

そろばん教室

小1、2、3対象

読み 書き そろばん教室

毛筆、硬筆 書写教室

子育て支援

Tel 082-854-0101 / Fax 082-854-8800